

IDCJ 評価部主催「第 27 回フェッショナル統計分析ワークショップ」

(2021/4/27,28 & 2/26 事前研修) (Zoom 開催)

受講者アンケート結果

1. 「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 平均値、中央値といった基本的なこともゆっくり丁寧にやっていただけて助かりました。
- 各値の手計算と共に、ヒストグラムと一緒に作りましょうといったグラフを作る作業も大変ありがたかったです。
- 標準偏差の意味がよく分かりました。ノンパラの場合は、どのような処理になるのも知りたいと思いました。
- ヒストグラムでチェックする視点がよく理解できました。平均値と中央値の差を見ることで、外れ値の存在を確認できることがわかりました。普段検定まですることはほとんどないのですがこれからは、中央値まで出して確認したいと思います。
- 何度も講義を受けたり、テキストに目を通してきましたが、今回のWSで、再確認することができ、すっきりした感じがしました。

2. 「t検定(事前・事後のt検定、2群のt検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- リッカートスケールのデータに t 検定が使われていること、各国の文化の違いによって正規分布の山に違いが出るという解説は興味深く聞きました。アンケート調査票設計段階で、心理背景も考慮した問の工夫ができればいいのかなと思いました。
- T 検定の種類の違いについて混乱していたので、どういう場面でどういう風に使うのか具体的に示していただけで良かった。
- エクセルに入力し、考える時間がもう少し確保していただければと思いました。いろいろな方と話をする際、最初にどちらが行うのかを確認するのに時間がかかることがあったので。
- 何度も講義を受けたり、テキストに目を通してきましたが、今回のWSで、再確認することができ、すっきりした感じがしました。

3. 「比率の検定(カイ二乗検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 手計算で確かめてみるというプロセスが有難かったです。演習用にいくつか練習問題(自学用)を頂けるとさらに有難いです。
- 5段階スケールと4段階スケールの違いについての解説を聞いて、そういう視点があったのかと気づきがありました。保険分野で使われることが多いというのは、少し意外な感じがしました。
- スポートニクVが例として出てきのが興味深かった。関心の高い事例が扱われると理解も深まりやすい。
- 何度も講義を受けたり、テキストに目を通してきましたが、今回のWSで、再確認することができ、すっきりした感じがしました。

4. 「回帰分析」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 手計算で確かめてみるというプロセスが有難かったです。演習用にいくつか練習問題(自学用)を頂けるとさらに有難いです。
- グラフにすると、影響を受ける変数がわかりやすいと思いました。各変数の相関を見ることができるので、複数の影響が考えられる場合に使ってみたいと思います。変数の設定が難しいかなと思いますが、使ってみたいと思いました。
- 若干時間がないように感じた。この分析手法が扱える事例の幅をもう少し理解したかった。
- 何度も講義を受けたり、テキストに目を通してきましたが、今回のWSで、再確認することができ、すっきりした感じがしました。

5. 「事前研修:インパクト評価の基本デザインと事例」について、満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 評価の考え方を把握できるため、意味のある事前研修である。事前研修ではなく、研修の一部にしてもいいのではないかな。
- 事前研修は任意という事でしたが、理解の促進のために非常に役に立ちました。
- 事前研修が有効だったと思います。5つの評価モデルの解説がわかりやすく、2日間の内容を理解を深める内容であったと感じました。
- 一覧表として整理されていたり、事例を多く紹介いただいたりしたので、それぞれのデザインの特徴がわかりやすかったです。
- 研究デザインと評価法の長所、短所を考えるいい機会になりました。私の場合、プレゼン、プロセス、プロダクトのプロセスが効果を生み出すための根拠や条件に関心があったため、例えば、ディーラーの話では研修プログラムがどのような論理に基づいて構成され、その

論理の妥当性がどのように検証されたのか等が気に掛かりました。コンサルとしては、提供するプログラムの質が問題になるので、この効果検証が開発支援等ではどのようになされているのかを考える資料があると、個人的にはうれしかったように思います。少し、ミクロな話になってしまいますが。

6. Zoom 開催については、いかがでしたか？

- 講師の作業画面(特にエクセル)を見ながらできるので、非常に良い。(エクセルでの作業を伴う場合、他面よりも分かり易いのではないかと思った。)
- 東京に行かなくても受講できた点、会場の広さという制約がない点、水分を補給したり咳をしても大丈夫だった点など、メリットが大きかったと思います。反面、隣の人との確認が出来なかったこと、直接意見交換するのとは異なりややもどかしかったこと、質問するタイミングが微妙だったことなど、zoom に不慣れなことに起因する課題も感じました。また、事前研修の際に、うっかり急ぎの電話に対応してしまったことで、集中力が途切れてしまったのは反省点です。電話に出ない、居留守にするなど、自分のルールを決めていく必要があると感じました。総合的に見て、メリット>課題 と思いました。
- グループワークは、実際に会って会話するより、話ずらいと感じましたが、エクセルシートを使っての実際の計算や、ホワイトボードを使っての説明などは、とても見やすく、わかりやすかったです。また、後日録画視聴ができたので助かりました。地方在住者にとって、オンライン開催になることで、参加のハードルが下がります。Zoom は操作が簡単なので参加しやすいと思います。
- 自分の行っている授業と重ね合わせると、やはり、顔が見えないと講師はなかなか難しいなと感じました。また、短時間、業務の関係で離れることもあるので、ブレイクアウトルームの状況を把握するために講師が移動する時間も必要になるの、時間調整が難しいと感じました。
- 質疑は対面の方が活発になると思うが、それ以外については特に問題はないように感じた。講師としては参加者の顔を見ながら話を進める方が講義の強弱もつけやすく、進捗管理もしやすいと思う。ただ、受講する側からすると特にデメリットは感じない。

7. その他、ご自由にコメントやご要望をお書きください。

- 手計算を繰り返すことでなぜその数字が出てくるのかということが体験的に理解できた。若干冗長に感じることもあるが、結果的に見て必要なプロセスだと思う。講師の話のスピードや内容がわかりやすかった。自分が話をするときにも参考にしたい。引き続きこのスタイルで続けてほしい。
- 参考書を読んで自分で学習しても分からなかったものを、今回の講義で、すっきりと分かり易く教えていただき、とても価値があると思いました。Zoom 公開いただける点も非常に有難いです。

- 実際に手計算をする時間が十分とられていて、実践に即役立つ研修でした。普段インパクト評価をする機会はないのですが、根拠を示すという意味では、今後もっと必要になってくるように感じました。より説得力のある結果を導き出すには、実施する前のデザイン設計と仮説が重要になると思いました。事例集をよく読んでみたいと思いますし、論文の読み方も学びましたので、興味のあるテーマの論文を読んでみたいと思います。ありがとうございました。
- ありがとうございました。このような機会がなければ一緒に話をする機会が得にくかった方々とお話しできてよかったです。
- 大変有意義な研修でした。ありがとうございます。今後とも、宜しくお願い致します。